

モニタリング調査結果

種名： アズマイチゲ

調査者： NPO法人境川の斜面緑地を守る会

調査地： 橋本

調査期間	気づいたこと
2018年2月 ～2018年4月	開花数はAエリアで4個、Bエリアで19個。ここ数年勢力が衰えて全く開花しない年もあったが、スゲ抜きを行った結果、昨年より勢力が回復し、今年はさらに開花数が増えた。スゲ抜きを続けて生育場所を広げていく。またヒメニラと同環境なのかよく観察する。
2019年2月 ～2019年4月	開花数はAエリアで2個、Bエリアで3個。昨年激増した反動か、あまり元気がなかった。スゲ抜きを続ける。
2020年2月 ～2020年4月	開花数はAエリアでは0個で開花なし。Bエリアで8個。暖冬のため例年より半月以上はやく開花した為か、草丈が短かった。スゲ抜き、ササ刈りを継続する。
2021年2月 ～2021年4月	開花数はAエリアでは0個で開花なし、Bエリアで19個。Aエリアは2年連続開花がない。株が古くなってきたためか。Bエリアではスゲ抜きを丁寧に行った効果か、これまでで1番多く花が咲き広がった。
2022年2月 ～2022年4月	3月24日に開花数を数えた。今年もAエリアでは0個で開花なし、Bエリアでは4個。3月11日に大きな葉から3個のツボミがでていたが、それ以後は大きな葉の数はほとんど増えなかった。開花数が減った原因は開花前の乾燥と雨不足の影響ではないかと考える。
2023年2月～ 2023年4月	3月21日に開花数を数えた。今年もAエリアでは0個で開花なし、Bエリアでは4個。
2024年2月～ 2024年4月	3月28日に開花数を数えた。合計4輪：A区一輪、B区一輪、C区2輪、計4輪 合計本数は昨年と同数だがエリアごとには異なる。
2025年2月～ 2025年4月	3月27日に開花数を数えて、0輪だった。A区、B区、C区ともに葉は繁茂しているが、花は確認できなかった。 (今回初参加してくれた安瀬さんのマンションの裏：元橋本の境川の北斜面にアズマイチゲが10輪ほど咲いているのを確認)